

平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 マツダ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長  
井 巻 久一  
コ ー ド 番 号 7261  
問 合 せ 先 財務本部経理部長  
藤 本 哲也  
TEL 広島(082)282-1111  
東京(03)3508-5040

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正  
及び前中間期実績と当中間期実績の差異について

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正

平成 18 年 4 月 28 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期の連結及び単独の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	3,100,000	135,000	130,000	75,000
今回修正予想(B)	3,150,000	148,000	140,000	82,000
増減額(B-A)	50,000	13,000	10,000	7,000
増減率	1.6	9.6	7.7	9.3
前期(平成 18 年 3 月期)実績	2,919,823	123,435	101,470	66,711

(2) 単独

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	2,290,000	70,000	80,000	50,000
今回修正予想(B)	2,300,000	85,000	90,000	58,000
増減額(B-A)	10,000	15,000	10,000	8,000
増減率	0.4	21.4	12.5	16.0
前期(平成 18 年 3 月期)実績	2,032,115	66,961	60,177	10,984

2. 増減理由

当初の見通しを上回る原材料市況の高騰及び、為替レートが想定より円安に推移してきていること等踏まえ、上記のとおり連結及び単独ともに通期業績予想を修正いたします。

## 前中間期実績と当中間期実績の差異

平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の実績値について、前中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)の実績値と比較して下記のとおり変動が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 前中間期実績と平成19年3月期中間期実績との差異

##### (1) 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
平成18年3月期中間期実績値(A)	1,351,914	48,780	43,361	31,088
平成19年3月期中間期実績値(B)	1,521,448	69,757	56,592	27,213
増減額(B-A)	169,534	20,977	13,231	△3,875
増減率	12.5	43.0	30.5	△12.5

##### (2) 単独

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
平成18年3月期中間期実績値(A)	943,439	15,798	12,480	13,228
平成19年3月期中間期実績値(B)	1,103,019	43,137	41,271	27,296
増減額(B-A)	159,580	27,338	28,790	14,067
増減率	16.9	173.0	230.7	106.3

#### 2. 増減理由

売上高は、出荷台数の増加、車種構成の改善に加え、為替が円安に推移したことにより、連結及び単独ともに前中間期実績を10%以上上回りました。

営業利益、経常利益につきましても、原材料市況の高騰等あるものの、台数・車種構成の改善、並びに為替レートが円安に推移したことにより、連結及び単独ともに前中間期実績を上回りました。

なお、中間純利益につきましては、昨年計上しました特別損益(「厚生年金基金代行部分返上益」及び「減損損失」)の影響により、連結においては前中間期実績を下回り、単独においては経常利益の改善に比べて増減率が低下しております。

以上